

## 職員90名が「認知症サポーター養成講座」を受講

～ 認知症サポーターの資格者が725名に ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は8月10日、「認知症サポーター養成講座」を開催し、職員90名が受講しました。この講座は、認知症の方やその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成するもので、当金庫では平成23年から継続して実施しております。

参加者は、認知症に関する正しい知識や認知症の方との接し方、支店窓口やATMコーナーでの対応などについて熱心に講義を受け、受講後、認知症サポーターの証としてブレスレット（オレンジリング）が授与されました。

当金庫の認知症サポーター資格者は、今回の受講者を含め725名となりました。今後とも、同サポーターを養成し、お客様の気持ちに寄り添うことができる職員を育成するとともに、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献し、社会的責任を果たしてまいります。

### 記

#### 1. 認知症サポーター養成講座

- (1) 開催日 平成30年8月10日（金）
- (2) 場 所 本店2階ホール
- (3) 参加者数 90名
- (4) 講 師 大阪市認知症介護指導者 今堀 富美代 氏

#### 2. 認知症サポーターについて

認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守り支えていく応援者です。厚生労働省では「認知症サポーターキャラバン事業」として平成17年から同サポーターの養成に取り組んでおり、人数は平成30年6月末現在、全国で約1,036万人となっています。



講座の様



講師：今堀富美代氏

以上